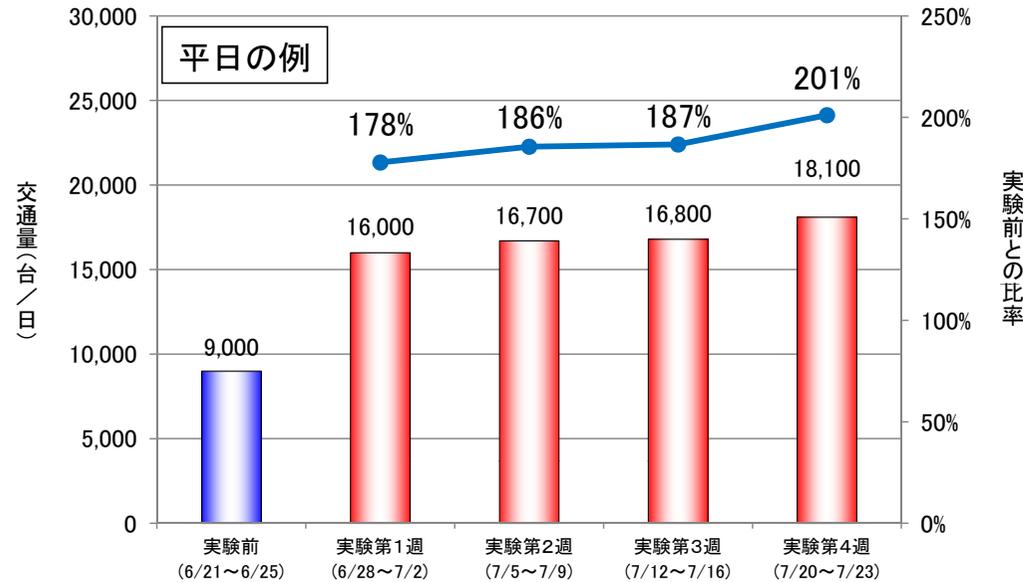


高速道路(実験区間)

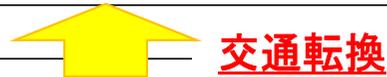
○ 開始後1ヵ月間を通じて、平日・休日ともに平均で約2倍に増加



[渋滞状況]

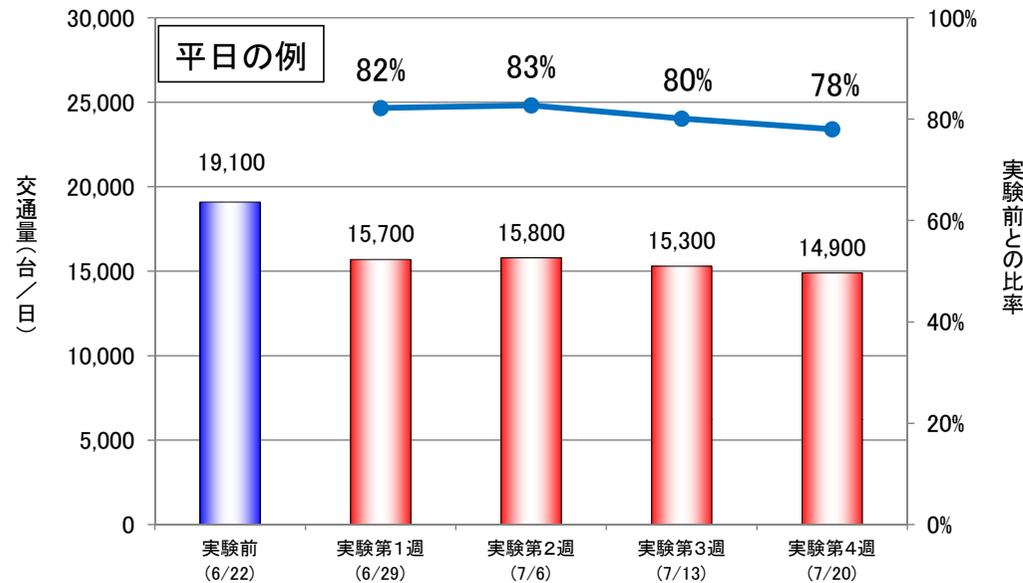
- 実験区間の渋滞状況については、50区間のうち、
平日は1日あたり約3区間、
休日は1日あたり約10区間で渋滞が発生
- 主な渋滞発生要因は、一般道路との合流部が
平日で約7割、休日で約5割を占める

並行する一般道路



交通転換

○ 開始後1ヵ月間を通じて、平日・休日ともに平均で約2割減少



[渋滞状況]

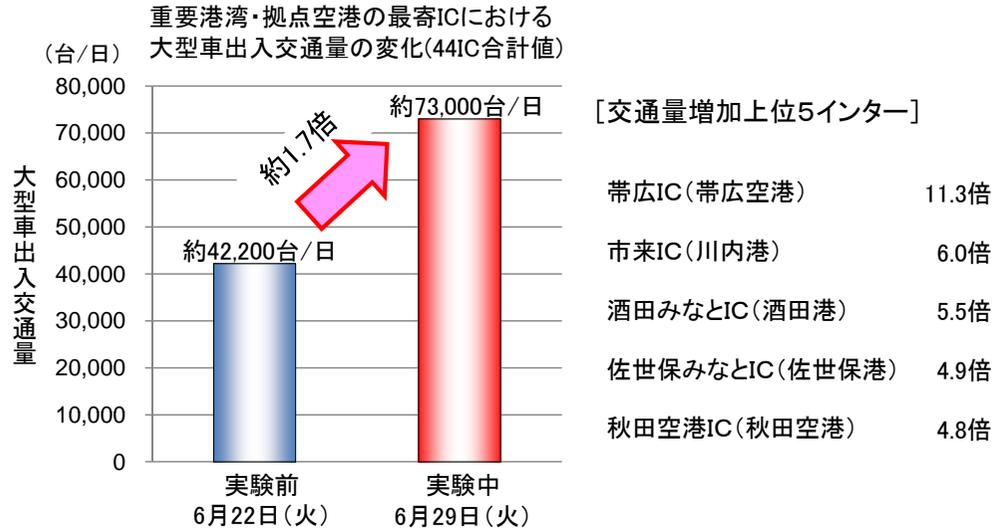
- 主要な並行一般道路の渋滞状況については、
渋滞時間(時速10km以下)が約6割減少、
混雑時間(時速20km以下)が約4割減少

【事例】 京都丹波道路に並行する国道9号

亀岡市内の主要な渋滞箇所(国道9号)では渋滞が解消される等、今後、地域の魅力的なまちづくりに大きく貢献することが期待

物流

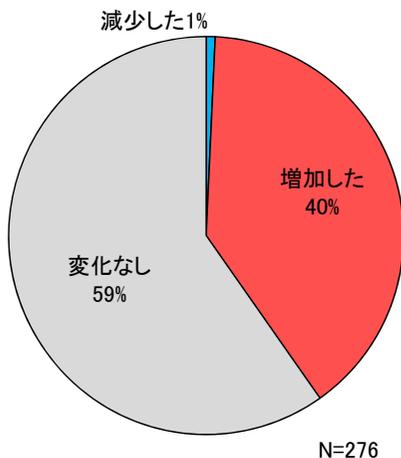
○ 重要港湾・拠点空港の最寄ICの大型車交通量は約1.7倍に増加



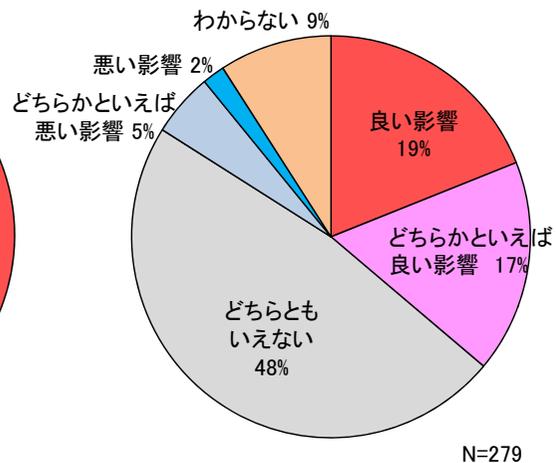
○ 実験区間周辺の物流事業者へのヒアリング調査では、

- ・高速道路利用回数: **40%が増加**、**1%が減少**と回答
- ・物流活動への影響: **36%が良い**、**7%が悪い**と回答

1. 高速道路利用回数の変化



2. 物流活動への影響



観光

○ 実験区間周辺の入込客数は、平日と3連休は約1割増加 (休日は全国的に雨の日が多かったこともあり減少)

実験開始後1週間

	実験前	実験中	変化率
平日 6/28~7/2	11.7 万人/日	12.8 万人/日	約10%増
休日 7/3~7/4	29.4 万人/日	25.4 万人/日	約14%減

3連休

	実験前	実験中	変化率
7/17~7/19	38.0 万人/日	41.2 万人/日	約9%増

・並行する一般道に面した施設等では、入込客数が減少している傾向の箇所もあり、地域での取り組み、天候、季節変動などの要因を含めデータの収集・分析が必要

○ 実験区間周辺では、実験にあわせ地域の魅力を発信するための様々な取り組みがスタート

主な取り組み例

実験区間	地域の取り組み内容	実施主体
東九州自動車道 大分米良~佐伯	佐伯の食を味わい観光スポットを巡る「佐伯もぐもぐるぐるラリー」(スタンプラリー)を実施し、抽選で賞品を贈呈	佐伯市、佐伯市観光協会



【事例】

東九州道周辺では、無料化実験にあわせたイベントの開催により、

- ・佐伯市の道の駅では**利用客数が約2倍に増加**
- ・津久見市の特産品販売所では、**利用客数が約4~5倍に増加**